

## 道徳の時間学習指導案

授業者 辻 裕介

- 1 学年 第2学年
- 2 主題名 やり抜く心 (1-2 勤勉努力)
- 3 資料名 「さかあがり できたよ」(「みんな たのしく 2年 東京書籍」)
- 4 ねらい 自分で決めたことについては、最後までやり遂げようとする態度を育てる。
- 5 本時の展開

	学習活動	主な発問 (○) と予想される児童の反応 (・) (◎中心発問)	指導上の留意点 (☆評価の観点)
導入	1 本時の学習課題をつかむ。	○あなたが、今一番がんばっていることは、何ですか。 ・鉄棒・字をきれいに書く・係活動 ・お手伝い	・がんばっていることについて振り返ることで、本時の学習への方向づけを図る。
展開	2 資料「さかあがり できたよ」を聞き、話し合う。	○一人では回れなかったときの気持ちは、どうだったでしょうか。 ・くやしい ・どうしてできないんだろう ・みんないいな  ◎「わたし」は、どんな気持ちで夏休みになっても練習を続けているのでしょうか。 【前向きな気持ちと後ろ向きな気持ちを想像し、グループで意見を出し合う】 ・がんばろう ・きっとできる ・絶対できない ・やめようかな  ○さかあがりができたときの「わたし」は、どんな気持ちだったでしょうか。 ・やったー ・やっとなできた。 ・毎日練習してよかった。  ○「わたし」のように、「友達や家族に見せたい」と思えるようなことがありますか。 ・夏休みの間に泳げるようになったので見てもらいたい。 ・字をきれいに書くように頑張った。 ・逆上がりを見てほしい。	・場面の様子を押しさえながら読んでいく。 ・似たような体験がある児童には、その時の気持ちも考えさせる。 ・長い期間こつこつと練習を続けていることを押さえる。 ・いろいろな気持ちを発言させることで、「わたし」の気持ちに気付かせ、深めるようにする。 ・投げ出したくなりがちながらも、最後までやり抜いた時の気持ち良さを想像させる。 ・がんばった後の心地よさに共感させる。  ・授業や行事などを振り返りながら考えるように助言する。
終末	3 教師の説話を聞く。 ・新井選手の話を紹介する。	○これからどんなことを頑張りたいですか。 ・これからも続けて鉄棒を頑張りたい。 ・あきらめないで水泳を頑張りたい。  【わたしたちの道徳P.28を家庭で読み、感想を話し合うよう伝える。】	☆これから頑張りたいことについて、考えを持つことができる。